



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 NCS&A株式会社 上場取引所 東
コード番号 9709 URL <https://ncsa.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 隆博
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員常務 経営戦略室長 (氏名) 小林 裕明 (TEL) (06) 6443-1991
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,621	6.8	417	21.2	444	23.1	288	89.8
2023年3月期第1四半期	4,326	△7.4	344	7.3	361	△2.5	151	△24.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 341百万円(257.2%) 2023年3月期第1四半期 95百万円(△59.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	17.96	—
2023年3月期第1四半期	9.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	18,492	10,513	56.9
2023年3月期	18,591	10,634	57.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 10,513百万円 2023年3月期 10,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	0.6	1,560	1.2	1,620	0.2	1,100	△13.6	68.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	18,000,000株	2023年3月期	18,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,947,869株	2023年3月期	1,929,669株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	16,052,131株	2023年3月期1Q	16,435,199株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことを受け、経済活動が正常化に向かう一方、原材料価格の上昇や世界的な金融引締めが続く、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、コロナ禍を契機としたIT活用の一時的な需要の急増は収まったものの、デジタル活用が社会に定着化したことや、人材不足を背景とした業務効率化に向けたIT活用の重要性の高まりにより、市場環境は一段と復調しております。また、経済産業省が警鐘を鳴らした「2025年の崖」を背景に、古い基幹業務システムを刷新する動きが活発化しております。

このような環境のもと、当社グループは、収益性の改善を背景に「世の中から必要とされる会社」に向け、引き続き積極的な投資による主力ソリューションの強化に取り組んでおります。

企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進に寄与するサービスとして当社が展開しているマイグレーションサービスにおいて、2023年2月にリリースしたシステム資産を手軽に分析できるWebサービス「DX支援サービス」に続き、2023年6月には、IBM i (AS/400) ユーザーを対象に、お客様の状況や将来の展望に合わせたマイグレーションを実現する「Airs RPG to Java」をリリースし、DX案件の積極的な取り組みを行っております。また、研究開発を通して新しい事業の芽を創出する活動として2020年度下期から実施している「社内スタートアップ制度」において、前期の電子署名システム「サインシエルジュ」の製品化や複数の自社ソリューションへの機能追加に続き、新たな自社ソリューションとして、組織内のITインフラ(セキュリティ・ハードウェア・ネットワーク・サービスなど)の稼働状況を一括監視する総合情報表示基盤の研究開発を進めており、本年度中に「ScopNeo(スコープネオ)」としてリリースする予定であります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は、マイグレーションサービスをはじめとする自社製品によるソリューションが堅調に推移したことにより前年同四半期に比べ2億94百万円増収の46億21百万円となりました。利益面につきましては、増収効果により営業利益は前年同四半期に比べ72百万円増加の4億17百万円、経常利益は前年同四半期に比べ83百万円増加の4億44百万円となりました。また、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、法人税等合計が前年同四半期に比べ52百万円減少したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ1億36百万円増加の2億88百万円となりました。

当社グループは、ITサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績の記載を省略しております。なお、売上分類別の概況は次のとおりです。

<自社製品によるソリューション>

自社製品によるソリューションにつきましては、前期に引き続きマイグレーションサービスの外資系保険会社向け大型案件やアライアンス先との協業案件が順調に進捗し、売上高は堅調に推移しました。また、情報システム可視化ソリューション「REVERSE PLANET(リバースプラネット)」、個人信用情報接続サービス「Ccms(シーシーエムエス)」などの売上高が増加いたしました。その結果、自社製品によるソリューションの売上高は前年同四半期に比べ1億16百万円増収の11億58百万円となりました。

<システムインテグレーション>

システムの設計・開発から導入後の運用・保守までをワンストップで提供するシステムインテグレーションサービスにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けていたホテル業向けシステム開発・機器販売や中堅・中小企業向け生産管理システム「Factory-ONE 電脳工場」の導入・カスタマイズ案件などが復調いたしました。また、前年下期に引き続きインボイス制度対応に向けた案件が活発化するなど売上は堅調に推移いたしました。その結果、システムインテグレーションの売上高は前年同四半期に比べ86百万円増収の19億53百万円となりました。

<機器・パッケージ>

コンピュータ機器及び周辺機器、パッケージソフトウェア等の売上のうち、他の開発・サービスを伴わない機器・パッケージ単体の販売による売上高は、前年同四半期に比べ1億71百万円増収の4億64百万円となりました。

<受託開発>

大手SIerからの受託開発につきましては、前期に引き続き当社の得意領域にリソースを集中させ、また、受注条件の改善に努めるなど、収益性の向上に取り組んでおります。官公庁向けシステム開発が堅調に推移した一方、当社の強みを活かさない領域からの撤退・縮小を進めました。その結果、受託開発の売上高は前年同四半期に比べ80百万円減収の10億45百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は184億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円減少いたしました。流動資産は154億34百万円となり、1億42百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加(16億6百万円)、受取手形、売掛金及び契約資産の減少(16億76百万円)、商品の減少(1億8百万円)等であります。固定資産は30億58百万円となり、42百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の増加(58百万円)、無形固定資産の増加(30百万円)、繰延税金資産の減少(34百万円)等であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は79億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加いたしました。流動負債は45億39百万円となり、30百万円増加いたしました。主な要因は、その他に含まれる未払費用の増加(9億64百万円)、その他に含まれる預り金の増加(2億14百万円)、賞与引当金の減少(9億34百万円)、未払法人税等の減少(1億84百万円)等であります。固定負債は34億39百万円となり、8百万円減少いたしました。主な要因は、リース債務の減少(8百万円)等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は105億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億20百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金の減少(1億61百万円)、その他有価証券評価差額金の増加(40百万円)等であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の57.2%から56.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2023年5月15日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,204,237	10,810,246
受取手形、売掛金及び契約資産	5,875,410	4,199,272
商品	286,571	178,198
仕掛品	24,686	36,491
その他	185,277	209,947
貸倒引当金	△30	△30
流動資産合計	15,576,153	15,434,125
固定資産		
有形固定資産	474,936	468,947
無形固定資産	431,192	461,371
投資その他の資産		
投資有価証券	912,211	970,908
繰延税金資産	587,612	553,585
差入保証金	470,506	468,633
その他	189,556	185,525
貸倒引当金	△50,931	△50,931
投資その他の資産合計	2,108,955	2,127,722
固定資産合計	3,015,084	3,058,041
資産合計	18,591,237	18,492,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	686,716	586,943
リース債務	42,046	38,755
未払金	1,101,395	1,246,904
未払法人税等	359,222	174,313
賞与引当金	1,404,655	470,454
役員賞与引当金	100,800	37,800
受注損失引当金	130,609	112,438
その他	683,403	1,871,994
流動負債合計	4,508,849	4,539,603
固定負債		
リース債務	60,075	51,955
退職給付に係る負債	3,365,972	3,365,207
長期未払金	21,970	21,970
固定負債合計	3,448,017	3,439,132
負債合計	7,956,866	7,978,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,775,100	3,775,100
資本剰余金	3,991,375	3,991,375
利益剰余金	3,865,584	3,703,882
自己株式	△844,675	△856,983
株主資本合計	10,787,385	10,613,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309,341	350,077
為替換算調整勘定	27,593	29,416
退職給付に係る調整累計額	△489,949	△479,438
その他の包括利益累計額合計	△153,014	△99,944
純資産合計	10,634,370	10,513,430
負債純資産合計	18,591,237	18,492,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	4,326,711	4,621,474
売上原価	3,010,800	3,216,903
売上総利益	1,315,910	1,404,570
販売費及び一般管理費	971,575	987,403
営業利益	344,335	417,167
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,700	15,839
未払配当金除斥益	5,714	11,519
その他	1,684	891
営業外収益合計	21,098	28,251
営業外費用		
支払利息	255	202
為替差損	3,571	467
その他	398	36
営業外費用合計	4,225	707
経常利益	361,209	444,711
税金等調整前四半期純利益	361,209	444,711
法人税、住民税及び事業税	2,946	140,379
法人税等調整額	206,418	16,065
法人税等合計	209,364	156,444
四半期純利益	151,844	288,267
親会社株主に帰属する四半期純利益	151,844	288,267

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
四半期純利益	151,844	288,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79,198	40,736
為替換算調整勘定	8,943	1,822
退職給付に係る調整額	13,966	10,511
その他の包括利益合計	△56,288	53,069
四半期包括利益	95,556	341,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,556	341,337
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。